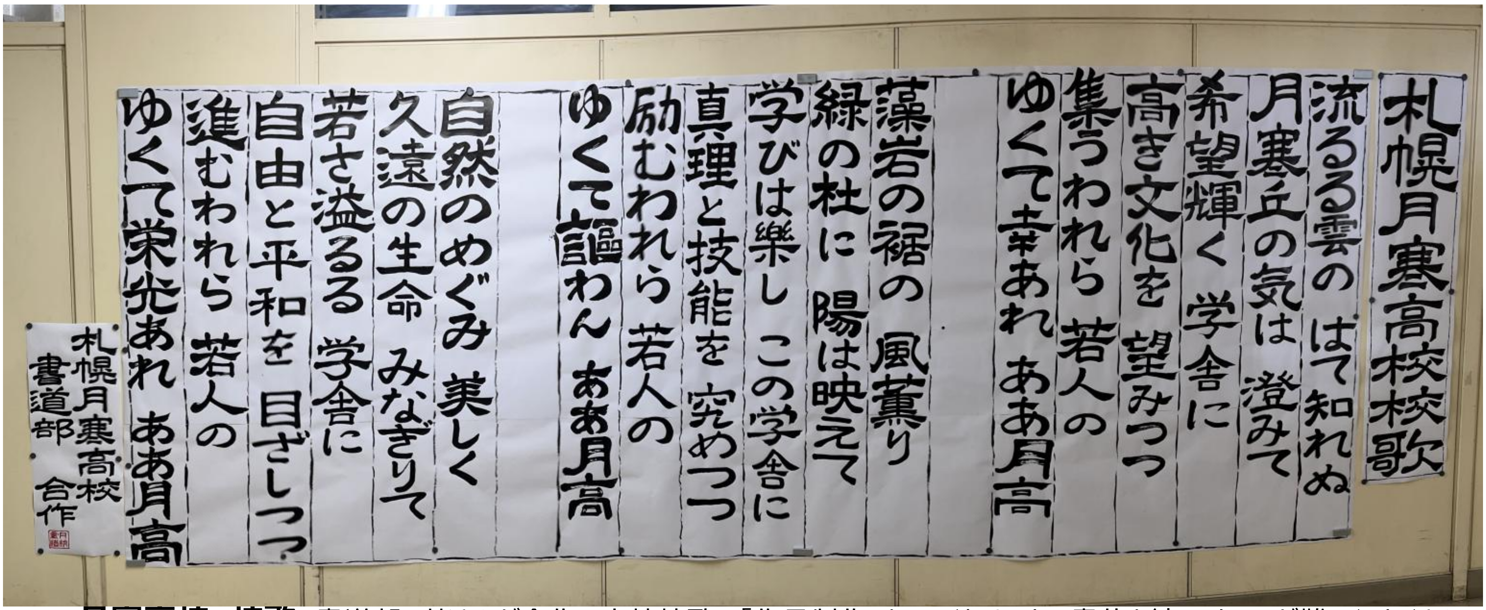
月高だより

北海道札幌月寒高等学校
第 40 号
令和７年３月 21 日発行
発行者 校長 三 村 素 道



■ **月寒高校 校歌** 書道部の皆さんが合作で本校校歌の「作品制作」をしてくれました。書体を統一するのが難しく、たくさん練習をして、１人１行から２行を担当して作成したそうです。

■ **スノーオブジェコンテスト** 2025 さっぽろ雪まつり期間中の２月４日、つどーむ会場で北海道高等学校文化連盟石狩支部による雪像制作コンテスト「スノーオブジェコンテスト」が行われ、本校美術部の生徒が、「It gets me (　　).」というタイトルで制作した作品が、第２位 さっぽろ雪まつり実行委員会会長賞を受賞しました。心に影響を与えている不安や感動などの何かを手にたとえ、心としての心臓を強く掴んでいる作品は、何が心にどんな影響を与えているかを見る人が自分なりに解釈してもらいたいということから、タイトルでは、それぞれ”It”、”(　　)”としたということでした。

作品の前でポーズをとる美術部員

■ **台湾の高校生との交流プログラム**

２月 15 日-16 日、コミュニケーションを主題とした探究的な学び『世界の同級生と共に自らの未来を考える』の集大成として、日本・台湾両国の高校生が、言葉に限定せず、多様な形のコミュニケーションを取ることができるようになることや、互いの文化の違いを体験的に学ぶとともに、違いを肯定できるようになることを目的に、台湾・景美女子高校の生徒と本校１年生の希望生徒の交流プログラムを実施しました。１日目は、北海道大学学術交流会館に集合し、自己紹介の後、札幌市内の観光プランを立て、午後からは、そのプランに従って市内観光をしました。２日目は、サッポロファクトリーにて、「こども未来会議」及び「もののけアート」へ参加。午後から、ランチとミニ札幌探検の後、北海道大学エンレイソウにて「Snow Capped Tea Party」を行い、互いの交流を深めました。

交流の様子

■ **BEING ALIVE I 振り返り** ２月 19 日、１年生では、今年度実施してきた探究学習の振り返りを学年全体で実施しました。担当の村中教諭が振り返りを促していく中で、３組山本さんが、宇宙探査機ボイジャーをテーマに作曲した曲を説明しながら披露したり、３組本間さんが、数多くの学校外での国際交流プログラムへの参加を通じて、自分の国についてあまり知らないことを痛感しながらも、諦めず続けることで英会話がスムーズにできるようになったり、海外の友達ができるようになった経験を話してくれました。最後には教育関係の会社に勤務する本校卒業生より、自身の今の活動についての話があり「動かなければ、何も始まらない」とのアドバイスをもらいました。

生徒のプレゼンテーションの様子

発表の様子

■ **BEING ALIVEⅡ　学年発表会**　２年生では、探究学習プロジェクトとして、それぞれのゼミにおいて発表会を行い、そこで選出された代表者が２月 19 日学年発表を行いました。次のように多彩なテーマの発表会となりました。「本番で実力を発揮するために～パフォーマンスにおける心理的影響～（2-8 石垣さん）、「偏食の原因と影響～臨床検査技師にできること～（2-7 浅沼さん）、「変わりゆく教育現場～定期試験廃止から見る現代の教育の課題～」（2-5 竹内さん）、「デンマークから学ぶ北海道の地域医療の問題点とこの先」（2-8 山中さん）、「どうして大都市に人が集まるのか～地方の人口を増やすためには～」（2-1 鬼頭さん）、「タイポグリセミアの世界～あなたもきっとだまされる?!」（2-1 長谷川さん）、「起業について～学生に起業はできないのか～」（2-4 齋藤さん）、「面白い文学作品の特徴～作品を面白くさせる要素は何か～」（2-1 野﨑さん）、「聖地巡礼における地域の活性化～アニメが与える経済的効果」（2-1 本間さん）、「英語学習の上での音読の必要性～英語教育が広まる年齢との関係～」（2-1 佐々木さん）、「天気のことわざの有用性」（2-7 西澤さん）、「応援の力～応援する人との関係性によるパフォーマンスの差～」（2-7 青山さん）、「現代アートと私たち」（2-2 中村さん）、「授業中の睡眠について」(2-6 小玉さん)、「幼児期の運動神経の発達」（2-7 小宅さん）、「ミラー効果～マイナス面について」（2-7 眞鍋さん）、「キノコ観察における不明種同定について～アマチュア研究の可能性も探る～（2-7 大川原さん）、「ロードバイクにおけるカーボンアルミホィール・アルミホィールの制動性能に関する探究（2-7 小郷さん）

■ **第 73 回卒業証書授与式**　卒業式前日には、全日制、定時制それぞれに同窓会入会式が行われ、同窓会幹事への委嘱状の授与、記念品の贈呈や同窓会長挨拶、同窓会の説明などがおこなわれました。３月１日、それぞれに卒業式が行われました。今年の卒業生は、全日制では入学から１年間、定時制では２年間のコロナ禍による制限を受けた学年ですが、段階的な制限解除により従来通りの高校生活を送ることができました。全日制では卒業生・保護者とともに、定時制では在校生も含め、厳粛かつ盛大に卒業を祝うことができました。卒業生全員が、これまで支えてきてくれた友人やご家族に対する感謝の気持ちを忘れることなく、校訓「自主自立・親和協力」の精神で、それぞれの人生を力強く切り拓いていってほしいと思います。

全日制　同窓会入会式の様子

全日制　卒業生代表　高田さんによる答辞

定時制　卒業証書授与の様子

■ **羽ばたけ鴻鵠、全国に～今年度　全道・全国大会での活躍**

部活名	大会名	期日	結果
文芸創作	北のまんが・アニメ大賞	令和７年２月	まんが部門　審査員特別賞、アニメ部門　準大賞（２年　中村さん、樋口さん、寺井さん、高平さん）

■ **今後の行事予定**

	全日制	定時制
４月	1-7　年度始休業、8　着任式・始業式・入学式、9　実力テスト、対面式、15　身体測定、17　内科検診、22　歯科検診	1-7　年度始休業、8　着任式・始業式・入学式、9　対面式、18　生徒総会
５月	1　生徒総会、2　PTA 総会、8　壮行会	9　交通安全教室、14-16　１学期中間考査、27-30　教育相談、31-6/1　定通体連バドミントン当番校

●本校ホームページもご覧ください。
http://www.sapporotsukisamu.hokkaido-c.ed.jp/

●本校への応援やご意見などのメッセージなどを右のQR コードまたは、下のアドレスよりお寄せください。
https://forms.gle/iD4cobHyvqSNvGGy7